

「第8節 環境学習・教育」

【基本計画 第2章第8節】

現在の三番瀬は、人と海とが隔てられ、住民にとって必ずしも近いものではありませんが、三番瀬周辺にある浦安市郷土博物館、行徳野鳥観察舎、ふなばし三番瀬海浜公園、谷津干潟自然観察センター、学校等の施設やNPO等により、個々に環境学習・教育への取組が行われています。

このことから、より広範に多くの人々が参加・体験できるよう、地域の特性を生かし、各年代層の経験や関心に応じた環境学習・教育を行う体制を作り上げていくことが重要です。

そのため、地域全体で主体的に進められるよう、環境学習・教育のための検討組織を設置して、施設の整備や場の提供に取り組むとともに、人材の育成・確保を目指します。

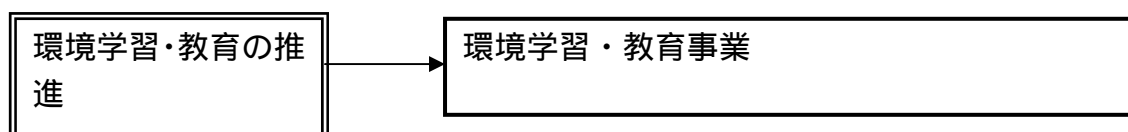
【第1次事業計画の目標】

三番瀬の再生を進めていくためには、より広範に多くの人々が三番瀬に関心を持ち、再生への活動に参加できるようにしていく必要があります。

このため、

- 1．環境学習・教育に関する検討委員会の設置
- 2．環境学習・教育に関する人材育成
- 3．三番瀬に関する環境学習・教育活動の支援を行います。

【施策の体系図】



【計画事業】

事業名	事業内容
<p>1 環境学習・教育事業</p> <p>(緊急・早期着手事業)</p>	<p>5か年の目標：三番瀬における環境学習・教育の実施</p> <p>三番瀬の再生を進めていくためには、より広範に多くの人々が三番瀬に関心を持ち、再生への活動に参加できるようにしていく必要があります。</p> <p>このため、地域の特性を活かし、各年代層の経験や関心に応じた環境学習を行う体制を作り上げるため、学識経験者、地元住民、NPO、教育関係者等からなる「三番瀬環境学習施設等検討委員会」を開催し、</p> <p>(1) 三番瀬を活用した環境学習の内容 (2) 環境学習を担う人材育成のシステムづくり (3) 環境学習のための施設のあり方や場の提供</p> <p>などについて検討を行います。</p>